

40 エリマキシギ

(チドリ目)

兵庫県ランク: B

Calidris pugnax

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:B

環境省ランク:

種の概要

北ヨーロッパ北部、シベリア北部などで繁殖し、繁殖後は西アフリカ、ヨーロッパ南部からアジア南部、中国南東部などに渡り、越冬する。春秋の渡りの時期に日本に渡来するが、本州以南では一部が越冬する。水田や休耕田、ため池など、内陸の湿地に生息するが、干潟や河口、海岸の埋立地などでも見られる。エビ類、ミズ類、貝類、昆虫類などを採食する。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、佐渡、舩倉島、隠岐、見島、四国、九州、対馬、五島列島、壱岐、屋久島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、トカラ列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：出口敦司

(性別：オス)

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、尼崎市、★明石市、★西宮市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、加西市、★南あわじ市、淡路市、加東市、★稲美町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ねぐ 特殊 ら休 息環 境・	局 地的 繁殖	希 少
	○	○				○	○		

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に3-5月と8-11月に生息するが、冬期にも記録がある。県南部では単独か数羽の群れが記録されていたが、生息環境の消失に伴い、現在は県南部では播磨東部や淡路島で僅かに記録される程度である。県北部でも記録されるが、個体数は極めて少ない。

保護上の留意点

生物の多様性を守ることを目的とした定期的な池干しなどによるため池の維持管理が重要。草を刈り、水を入れる休耕田があるが、この鳥には貴重な採餌場となっている。